

エレクトロニクス・航空・宇宙まで、

化学から生まれた先端素材が世の中を変える

講演者

出口 雄吉 氏 (東レ株式会社 専務取締役 経営企画室長)

1973 年京都大学理学部物理学科卒業、同年東レ株式会社入社。1998 年より PDP 開発推進グループリーダーを務め、2001 年に松下プラズマディスプレイ(株)取締役 兼 東レ(株) PDP 技術部長に就任。更に、2005 年電子情報機材事業本部(技術・生産)担当を経て 2009 年取締役・研究本部長、2012 年常務取締役・研究本部長を歴任、2014 年 6 月より現職。この間、PPS フィルム開発により 2001 年度高分子学会賞(技術)、プラズマディスプレイ背面板製造プロセス・材料の開発により 2002 年度日本化学会・化学技術賞を受賞。



今年、創業から 88 年になる東レ、その事業内容は、祖業である繊維からプラスチック・ケミカル、情報通信材料・機器、炭素繊維複合材料、環境・エンジニアリング、さらにはライフサイエンスまで広範囲にわたっています。また、会社(事業)の寿命は 30 年と言われる移り変わりの激しい産業界にあって、祖業の繊維をはじめ古くから展開している事業が今も世の中のニーズを捉え、成長し続けているのもこの会社の特徴です。最近でも、大手 SPA(*) と提携しての高機能衣料の爆発的普及や、長年にわたって取り組んできた炭素繊維複合材料による航空機の大幅な軽量化・省エネと快適性向上の実現など、幅広い分野で社会の発展に貢献し続けています。

本講演では、「素材には社会を本質的に変える力がある」、「Innovation by Chemistry」を標榜する同社のこのような広範囲かつ息の長い事業展開を可能にしている「源」としての企業哲学や経営戦略、組織、研究開発体制などについて、幹部が自ら事例を交え、生の声で語っていただきます。

国内マーケットの成熟からグローバルビジネスへの潮流の中で、日本経済・産業も転換期を迎え、新たな成長戦略に国内外の注目が集まっています。こんな状況下、「素材をベースとした広角な事業展開が私たちの生活・インフラまで世の中に変化をもたらす」という該社の経営は、これからの企業戦略に多くの示唆を与えて頂くことになるでしょう。多くを学び、次世代のビジネスデザインに繋げて行きましょう。

(*)SPA(Speciality store retailer of Private label Apparel); 企画から製造、小売までを一貫して行うアパレルのビジネスモデル

日時 2014 年 12 月 19 日(金) 17 時 30 分～ (19 時頃から懇話会)

場 所 京都大学デザインイノベーション拠点 (KRP9 号館 5 階)

対 象 デザインイノベーションコンソーシアム会員、京都大学教員・学生、一部招待者

定 員 40 名程度

参加費 無料 (懇話会・1000 円)

主 催 京都大学デザイン学大学院連携プログラム / デザインイノベーションコンソーシアム

運 営 貫井 孝 (京都大学デザイン学ユニット特任教授)

申 込 <https://pro.form-mailer.jp/fms/0d44cd8666754> (事前申し込み要)

締 切 2014 年 12 月 11 日 (木)

問合せ デザインイノベーションコンソーシアム 事務局

京都リサーチパーク (株) 山口

mail: info@designinnovation.jp

電話 : 075-315-8522

